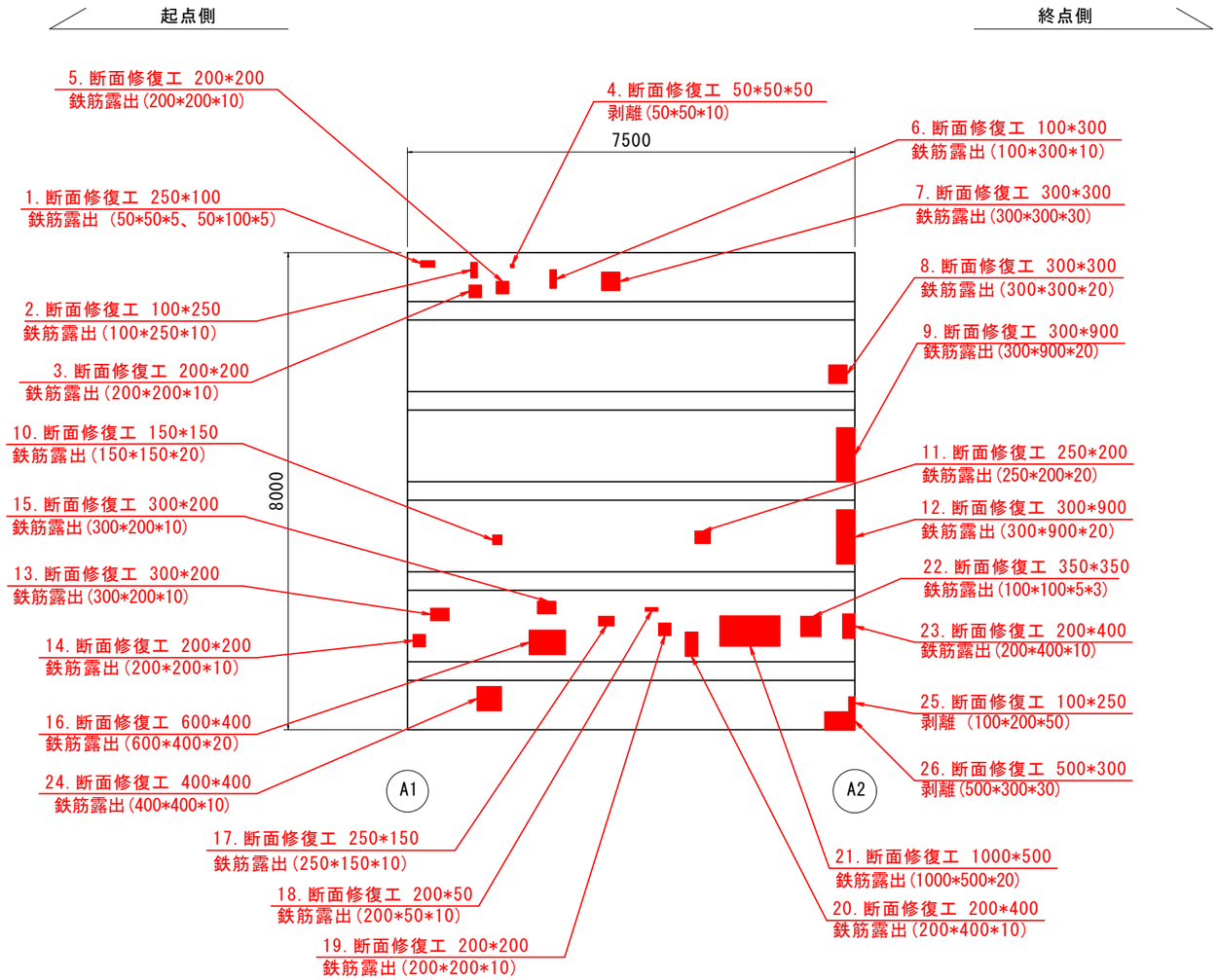
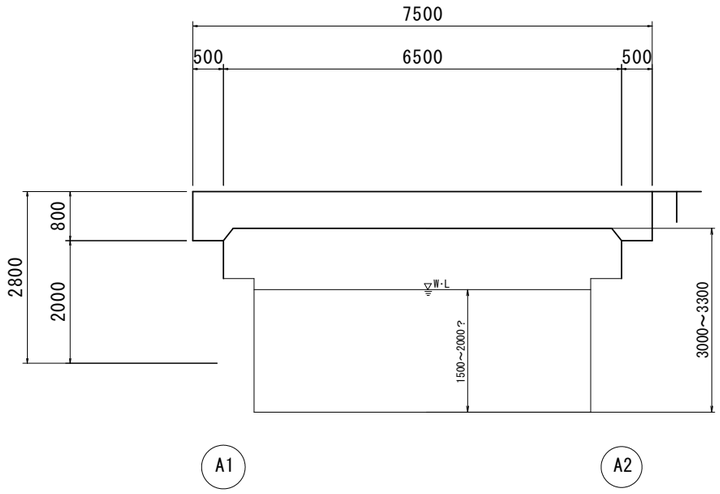
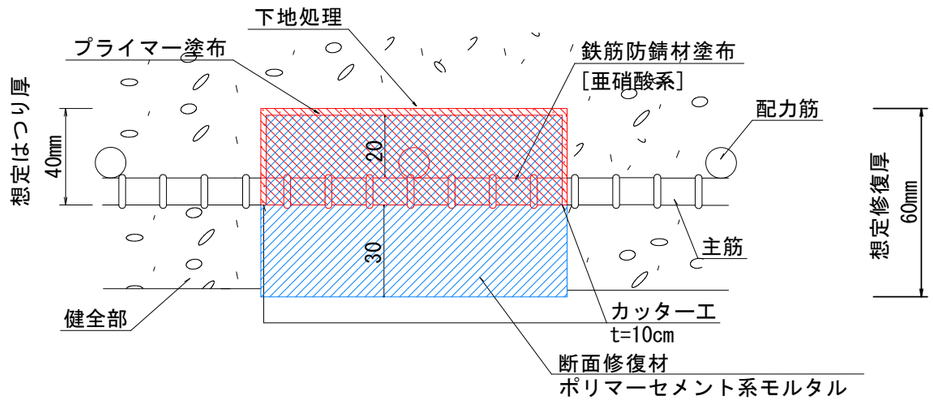
桁下 平面図　S=1：50



桁下 断面図　S=1：50



断面修復工 詳細図　S=1:1



断面修復工 施工手順

1. うき、剥離部コンクリートのはつり
2. 鉄筋のさび落とし・清掃
3. 鉄筋表面に防せい材塗布
4. コンクリート面にプライマー塗布
5. コンクリートの欠損部に充てん材を充てん
6. 養生

【注記】

1) 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
2) 劣化位置の外周にコンクリートカッターで切れ目を入れ、断面修復時に
　フェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
3) 損傷箇所のうき・脆弱部をハンマー等ではつりとった上、鉄筋の裏側まで(20㎜程度)
　十分にはつり出し鉄筋の錆を落とし、清掃及び防錆の塗布を行った後に断面を修復すること。
4) 修復厚を明記しているが、修復材は確実に損傷最深部まで充填すること。
5) 修復深さは、断面修復材の付着性を高める為、鉄筋背面まで施工すること。
6) 鉄筋が破断している場合は、現場と同等の鉄筋で添え筋を行う。

※A1図面

工 事 名	県道岡山牛窓線（ヨシオカバシ）橋梁補修工事		
図 面 名	ヨシオカバシ 補修一般図		
発注年度	令和8年度		
縮　　尺	図 示	図面番号	1 ／ 1
事業者名	岡山市東区役所地域整備課		